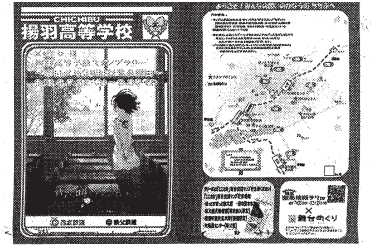




パタニティ・マタニティハウス建設の記事が 埼玉新聞に掲載されました。

2016年7月22日（金）埼玉新聞より



で、秩父を舞台にしたアニメ映画「心が叫びたがってるんだ。」(こころが叫びたがってるんだ。)

可上目指す

けた。補充学習は同事業の7組みの一つ。校6校では6月4日に始まる月28日までの土曜日に各校々実施する。中学校2校では今3日に行った。補充学習の受児童生徒の自由。

校は5・6年生が対象。6校96人が参加、全体の70%がた。小学校が国語・算数、中は数学と英語を実施。講師は育研究所「飛翔塾」(田辺宏)、個別指導塾「平成学館」(勝人代表)が務めている。小学校の補充授業には5年生19人が参加した。6年生(飛翔塾の小高昭彦講師(34)主参加なので勉強の意識は高まる。著からは「町が子どもたちの援をしてくれるのはありがた子どもがやる気になった」などが寄せられているという。中教育長は「アンケート結果を2学期以降も継続を検討」(電話)としている。(磯田正重)

新たな施設は「パタニティ・マタニティハウス」

聖地巡礼を楽しむ街中回遊イベント「2016夏 揚羽(あけは)高等学校スタンプラリー」本日2年2組は授業参観日〜を開催する。映画に秩父市内や横瀬町内が登場するため、主人公が通る「揚羽高等学校」の2年2組の生徒を探しながら、11ヶ所の聖地を巡る。秩父観光情報館や道の駅ちぢぶなど7カ所のスタンプのうち、5カ所以上のスタンプを集めると、ゴール地点でオリジナル(こころ)さけクリアファイルが先着7千人にプレゼントする。

22日からは、毎年恒例になっているファン参加型イベント「あの花龍勢」の奉納受け付けも開始。奉納者には記念品「あの花オリジナル缶バッジ」を先着2千人に贈呈する。

問い合わせは、市観光課(0494・255・5209)へ。(桜井和憲)

父親の育児もサポート

産婦人科などがある愛和病院(川越市)は、初産を対象にした育児支援施設を来年2月に開所する。産後の母親に加え、父親の育児支援をするのが特徴。初めての子育てに對する不安を和らげ、「コミュニティ」形成の支援などを行って子育てへの意識を高めていく狙いがある。

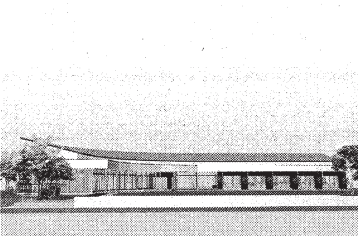
川越の愛和病院

新たな施設は「パタニティ・マタニティハウス」。病院のすぐ近くに設置する。10年前に産後の母親支援施設を立ち上げたが、近年は父親が育児に参加するケースが増えていることから、新たな施設を設置することにした。同病院では、乳児検診に付き添う父親が10年で倍近くに増えているという。

新施設には産後の母親が入院した後、夫婦と子が2泊3日で暮らせる部屋を5室設置。子育てに精通したスタッフが常駐し、育児のコツを伝えたりする。その後、1年間利用できるサロンも設け、育児の相談をしたり、「ママ友」「パパ友」を作れるようなコミュニティ形成の支援をしたりするという。

同病院は「家族が大切な時間を過ごすための場所として、夫婦の気持ちに寄り添ったパーソナルなサポートができれば」としている。

問い合わせは、同病院(049・235・8801)へ。(中島和哉)



新しく開設する施設の外観イメージ(愛和病院提供)